

## 第 11 回 中学校給食推進連絡調整会議 会議録

- 開催日時 平成 27 年 5 月 19 日（火） 10：00～11：35
- 場 所 高津市民館 第 4 会議室
- 出席者 座長：川崎市 P T A 連絡協議会 齋藤会長  
委員：中学校校長会 伊藤校長、佐藤校長  
小学校校長会 山崎校長  
川崎市 P T A 連絡協議会 小原前会長、伊藤副会長、宮嶋事務局  
川崎市教職員組合 阿部書記長、櫻間書記次長  
教育）望月中学校給食推進室長  
古内企画課長、澁谷教育環境整備推進室担当課長  
邊見健康教育課担当課長  
森中学校給食推進室担当課長、北村中学校給食推進室担当課長  
古俣中学校給食推進室担当課長
- ※欠席者： 小学校校長会 鈴木校長、  
教育）小田桐教職員課長、星野指導課担当課長、
- 事務局：教育）中学校給食推進室 二瓶担当係長、新田主任、沼田主任、小川職員  
新津職員

### ■内 容（進行 中学校給食推進室）

— 資料確認 —

— 座長挨拶 —

- 資料 1 説明（市立中学校完全給食の早期実施に向けた検討について）  
資料 2 説明（市立中学校完全給食実施に向けた取組について）  
資料 3 説明（東橘中学校での試行実施の取組について）  
資料 4 説明（市立中学校における学校給食費の取扱いについて）

（事務局より説明）

委 員 資料 4 「川崎市立中学校における学校給食費の取扱い等に関する要綱」については、保護者へ提示していただけるのか。

事 務 局 学校給食申込（変更届出）書に明記しているとおり、申込書の裏面に印刷する方法などにより全保護者に対し提示する。

- 委員 申込書のあて先が「川崎市立中学校長」と「公益財団法人川崎市学校給食会理事長」の連名になっているが、「川崎市立中学校長」あてについては、「川崎市」あてではないのか。
- 事務局 中学校も本市の教育機関であり、申込書を各中学校に提出いただくことから、保護者にとってわかりやすい様式とした。
- 委員 学校現場では、保護者や子どもとの良好な関係を保つため、学校給食費の未納者への督促等に大変苦勞している。徴収強化に向け法的措置をとることにより、学校給食費の未納に対する抑止力にもなるのではないだろうか。
- 事務局 川崎市立中学校における学校給食費の取扱い等に関する要綱を制定し、(公財)川崎市学校給食会と保護者との債権債務関係を明確に構築し、また、学校給食費の未納者に対する督促と催告の徴収強化を図ることによって、学校の負担軽減にも繋がればと考えている。
- 委員 (公財)川崎市学校給食会が発布する督促状を、学校長経由により保護者へ渡すことは、学校の業務として許容の内容である。今後開催する「中学校給食推進連絡調整会議作業部会」において、学校現場の状況を聞き取り、参考にさせていただきたい。また、実際に中学校完全給食の給食費徴収が始まってから、未納の状況等についての検証もしっかり実施していただきたい。
- 委員 学校徴収金は給食費だけではなく教材費等もある。学校では一緒に督促することになる。
- 委員 給食費の徴収方法について、前払いの方が徴収方法としては扱いやすいのではないかと。給食費を払わない世帯に対して給食提供するか否かの議論は別として、給食を喫食してから給食費を払わないことが徴収の対応を困難にしている側面があるのではないだろうか。
- 事務局 基本的には全員喫食である。他都市で実施している選択制のデリバリー給食であれば、事前申込みによる前払いとなる。他都市の状況も含め、様々な事例を参考にしていきたい。
- 委員 給食費徴収方法のひとつとして、児童手当から差し引くことはできないのか。
- 事務局 可能ではあるが、システムを構築する必要があり、多額の開発費用が見込まれるため、引き続き検討していきたい。
- 委員 給食費徴収強化に向けた業務を(公財)川崎市学校給食会が担うことは、負担が大きいのではないかと。
- 事務局 これまでも小学校及び特別支援学校の給食費の取扱いについては、(公財)川崎市学校給食会が担っている。引き続き、給食費徴収に関する事務について、他都市の状況なども調査・研究していきたい。
- 委員 学校給食費を納入しない保護者は、生活困窮者というより、資力があるにも拘らず給食費を支払わず、そのまま督促に応じないという悪質なケースが多いのではないかと。そのためにも、

法的措置をとり徴収強化していくことは当然の方策である。

委員 保護者の口座から学校給食費を銀行引き落としする際、当月で未納が発生した場合、翌月の引き落としに上乗せして引き落とすことができるか。

事務局 金融機関との契約関係にもよるであろうが、学校での事務作業も発生することが想定される。小・中学校及び特別支援学校の全保護者の多様な債権管理を行うには、給食費徴収に関するシステム構築も必要となってくる。引き続き研究していきたい。

室長挨拶

11時35分 閉会